

鎌倉市 洪水ハザードマップ

境川水系柏尾川版(深沢、大船、玉縄地域)



風水害時のわが家の避難行動

家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名前	電話番号	必要事項(常備家等)	避難の際、支援してくれる人
			名前: 電話: 住所:

必要項目に記載し、丸印でチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

自宅は内水氾濫浸水想定区域内にあるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	自宅付近に避難所・避難所があるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
自宅は土砂災害警戒区域内にあるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
自宅は洪水浸水想定区域内にあるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		

洪水浸水深: m 浸水継続時間: 時間 自宅は重要施設のある区域内にあるか ある ない

■避難するタイミング、避難する場所 実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げののか考えておきましょう。

- 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入力したらわが家は、
自宅に待機し、状況に応じて自衛避難します。 _____ へ水平避難します。 移動時間: _____
(予定避難所等)
- 水平避難の途中で危険を感じたら、 _____ へ緊急に重点避難します。 移動時間: _____

※内水氾濫、土砂災害、洪水は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう

警戒レベル	住民の皆さんが取るべき行動	鎌倉市の情報	(参考) 気象庁等の情報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 大雨特別警報発表時は、避難勧告・指示等の対象範囲を再度確認	大雨特別警報 洪水警報の危険度分布 氾濫発生情報
4	速やかに避難 危険な区域の外や少しでも安全な場所に速やかに避難	●気象庁による洪水警報の危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報
3	土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は避難準備が整い次第、避難行動開始 高齢者の方は速やかに避難	避難指示(緊急) ※緊急的または重ねて避難を促す場合等発令	避難勧告 警戒(警報級) 氾濫警戒情報
2	ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難所、避難経路等を確認し避難行動の準備	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報 警戒(注意報級) 氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)	

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるような気象情報に「警戒レベル(3~5)相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

風水害時に取るべき行動



避難の心得

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難(水平避難)

河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難(水平避難)は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保(垂直避難)

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保(垂直避難)をしましょう。

立退き避難の心得

- 浸水が始まる前に避難を! 浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによっては足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。
- 避難判断は自分で! 気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。
- 移動手段は徒歩で! 車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなるおそれがあります。

その他避難時の留意事項

- 避難時は動きやすい服装で! 特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。
- 移動は二人以上で! 一人だといざという時に助け合えません。
- 夜間の避難は要注意! 夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。
- 非常持出品を準備して避難!

逃げ遅れたら

建物の2階以上や、斜面と反対側の部屋に移動して、自分の身を守る!

家屋や家財の被害を軽減する方法

家屋の浸水被害を軽減する

家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

生活用水の工夫

トイレや洗濯機などの排水溝

風呂の貯水

水を入れたビニール袋を置いておくことで排水溝から逆流してくる泥水を防ぎます。

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

止水対策

土のうが無くても、ゴミ袋やプランター、ポリタンク、レジャーシートなどの身近なものを使って、家屋の浸水を防ぐことができます。

ごみ袋による簡易水のう	ポリタンクとレジャーシート	プランターとレジャーシート
ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れて連結します。	ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。	土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。

家財の浸水被害を軽減する

水に浸かってしまった家財は一瞬にしてゴミとなってしまいます。家財が浸水被害にあわないようあらかじめ高いところへ移動しましょう。

通帳・保険証・パスポートなどの重要書類	数日分の衣類	高価な家電製品

風水害時の避難施設

【拠点】	指定避難所(ミニ防災拠点)	風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所として、市立の小・中学校を指定しています。			
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
深沢	深沢小学校	梶原 1-11-1	大船	今泉小学校	今泉 2-13-1
	富士塚小学校	上町屋 810		大船中学校	大船 4-1-25
	山崎小学校	山崎 2500		岩瀬小学校	岩瀬 840
	深沢中学校	梶原 1-14-1	玉縄	玉縄小学校	玉縄 1-860
手広中学校	手広 5-7-1	関谷小学校		関谷 468-1	
小坂小学校	小袋谷 587	榎木小学校		榎木 1	
大船	大船小学校	大船 2-8-1		玉縄中学校	岡本 1100

【補助】	補助避難所(予備避難所)	福祉避難所			
必要に応じて市の判断で開設される避難所であり、国・県立及び私立の学校等を指定しています。		一般の避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する施設です。			
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
深沢	県立深沢高等学校	手広 6-4-1	深沢	教養センター	笛田 2-17-1
大船	鎌倉学園	山ノ内 110	大船	今泉さわやかセンター	今泉 3-21-23
	鎌倉女子大学岩瀬キャンパス	岩瀬 1420	県立鎌倉養護学校	関谷 566	
	県立大船高等学校	高野 8-1	玉縄	玉縄すこやかセンター	玉縄 5-9-1
玉縄	栄光学園	玉縄 4-1-1			

【風水害】	風水害等避難場所	大規模災害が発生又は発生が予想される場合に、状況に応じて市が判断し、指定避難所(ミニ防災拠点)や補助避難所(予備避難所)に加えて開設する避難所です。			
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
深沢	手広公会堂	手広 1-15-1	大船	岩瀬公会堂	岩瀬 551-2
	手広西公会堂	手広 4-13-8		岩瀬保育園	岩瀬 1526
	青蓮寺	手広 5-1-8		今泉町内会館	今泉 2-4-28
	笹田公会堂	笹田 3-33-22		今泉台町内会館	今泉台 4-6-13
	深沢学習センター(深沢センター内)	常盤 111-3		清泉学院	城廻 200
	上町屋町内会館	上町屋 616		朝日生命大船営業所	台 1-3-9
大船	山崎集会所	山崎 1527	戸部会館	岡本 2-3-20	
	建隆寺	山ノ内 8	大船フラーワーセンター	岡本 1018	
	円覚寺	山ノ内 409	玉縄学習センター(玉縄行政センター内)	岡本 2-16-3	
大船	大船学習センター(大船行政センター内)	大船 2-1-26	玉縄青少年会館	玉縄 1-2-1	
	龍木町内会館	大船 2-11-4	榎木公会堂	榎木 421-1	
	大船カトリック教会	大船 2-1-34	久成寺	榎木 494	
	大長寺	岩瀬 1464	関谷・城廻公会堂	城廻 283-52	

風水害時の情報と行動の目安

警戒レベル	住民の皆さんが取るべき行動	鎌倉市の情報	(参考) 気象庁等の情報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 大雨特別警報発表時は、避難勧告・指示等の対象範囲を再度確認	大雨特別警報 洪水警報の危険度分布 氾濫発生情報
4	速やかに避難 危険な区域の外や少しでも安全な場所に速やかに避難	●気象庁による洪水警報の危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報
3	土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は避難準備が整い次第、避難行動開始 高齢者の方は速やかに避難	避難指示(緊急) ※緊急的または重ねて避難を促す場合等発令	避難勧告 警戒(警報級) 氾濫警戒情報
2	ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難所、避難経路等を確認し避難行動の準備	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報 警戒(注意報級) 氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)	

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるような気象情報に「警戒レベル(3~5)相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

情報の入手先

各情報源から入手できる情報 気 気象情報 川 河川水位情報 土 土砂災害情報 避 避難情報

テレビ ラジオ

テレビ ケーブルテレビ(J:COM湘南・鎌倉) ラジオ 鎌倉エフエム放送(82.8MHz)
*dボタンを押すと情報を確認できます。

登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス [登録方法] 左のQRコードからサイトへアクセスし、必要 登録 画面の指示に従って登録を行ってください。

登録 携帯電話事業者 携帯電話事業者により、気象庁、各都府、地方公共団体等が配信する災害情報が携帯電話に自動的に配信されます。

鎌倉市ホームページ <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/> 国土 神奈川県土砂災害情報ポータル <http://dosyasaigaai.pref.kanagawa.jp/>

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html> 国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>

緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。0120-24-0467(無料) (補完対策・消防テレホンサービス) 防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

河川の水位情報

河川水位

河川名(水量標名)	水防留待機水位 通報水位	氾濫注意水位 警戒水位	避難判断水位	氾濫危険水位
滑川(大津橋)	1.60m	2.00m	2.00m	2.30m
神戸川(大津橋)	1.30m	1.40m	1.40m	1.70m
柏尾川(神綱橋)	2.60m	3.60m	4.90m	5.60m

雨量の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
状況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	思惑しなくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる